

平成30年度 子ども読書活動推進の取組

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成29年度取組の実績と課題等	平成29年度 取組区分	平成30年度取組内容等	平成30年度 取組区分	担当課	
<b>【基本方針Ⅰ】 子どもの読書機会の提供・充実と読書環境の整備・充実</b>									
1	(1)	①	P31	<b>【ブックスタート事業】</b> 保護者に絵本を介した親子のふれあいについて伝えます。 絵本の紹介や読み聞かせ、市立図書館の利用案内の配布等を行い、保護者への啓発を行います。	月3回行われる4か月児健康診査において、中央図書館と連携し、絵本の無料配布や読み聞かせなどを行い、こどものブックスタートの大きなきっかけになりました。	継続	中央図書館と連携し、4か月児健康診査の中でブックスタートの場を設け、啓発に取り組みます。	継続	保健医療課
				4か月児健康診査時のブックスタートで、絵本を手渡すとともに、絵本を介した親子の触れ合いについて図書館職員が啓発を行いました。また健診の待ち時間を利用して、図書館のおはなし会ボランティアが、乳幼児と保護者に絵本の読み聞かせを行いました。実施回数：36回、絵本配布数：2,490冊	継続	4か月児健康診査時のブックスタートで絵本を手渡すとともに、絵本を介した親子の触れ合いについて図書館職員が啓発を行います。健診の待ち時間を利用して、図書館のおはなし会ボランティアが、乳幼児と保護者に絵本の読み聞かせを行います。	継続	中央図書館	
2	(1)	①	P31	<b>【子どもの読書に関する相談】</b> 新刊や季節の本の案内、調べ物の支援等、家庭における読書活動を支援します。	利用者から問い合わせがあった「トイレトレーニングの本」や「のりものの絵本」の本についてリストを作成し、職員間で共有したことにより、類似の問い合わせがあった際の対応がスムーズになりました。今後は、利用者にもリストが活用されるよう、図書館ホームページに公開する、印刷して利用者の手に取りやすい場所に配置するなどの工夫が必要です。 新刊や季節の本の案内に加え、関係課と連携し、「生物多様性」「食育」「障害」などのテーマで本の特集を行いました。 ホームページの「子ども向け調べものリンク集」を見直し、調べものに活用できるサイトを新たに追加しました。	継続	問い合わせの多いテーマなど、レファレンス対応がスムーズにできるよう本のリストを作成します。作成したリストは利用者の手に取りやすい場所に配置するなどし、活用されるように工夫します。 新刊や季節の本以外にも、多様なテーマの特集を行います。 ホームページに掲載している情報についても、随時見直しを行い、更新します。	継続	中央図書館
3	(1)	①	P31	<b>【家庭での読書活動の啓発】</b> 家庭における読書活動の役割について、保護者への啓発に努めます。	家庭訪問等において絵本の読み聞かせや、絵本を介した親子の触れ合いについてを伝えることで、家庭での読書活動を行うきっかけになったと考えられます。	継続	乳幼児健康診査、家庭訪問等において、年齢に応じた読み聞かせや絵本の使い方について伝え、家庭での読書活動のきっかけづくりとなるよう取り組みます。	継続	保健医療課
4	(1)	①	P31	<b>【家庭での読書活動の啓発】</b> 絵本ばかりを配付することで、保護者が本を選びやすくなるように図書の情報提供に努めます。	ブックリスト等を通じた情報提供により、保護者が年齢に合った絵本を選択する目安になり、家庭での読書活動を行うきっかけになったと考えられます。	継続	ブックリストの活用や文書の発行、掲示物の工夫などを通して、保護者へ読み聞かせの大切さや楽しさを伝えます。また、子どもの興味や関心が高い絵本等の情報提供を実施します。	継続	保育幼稚園総務課
5	(1)	①	P31	<b>【家庭での読書活動の啓発】</b> 学校だよりや図書館だよりで読書についての記事を掲載します。 読書感想文を夏休みの宿題にすることで、家庭での読書を推進するよう指導しています。	学校図書館貸出冊数は年間531,704冊（平成28年度462,634冊、平成27年度354,493冊）で、年々伸びています。 一方、平成27・28・29年度の全国学力・学習状況調査の経年比較では「授業時間以外に読書を全くしない」と答えた本市小学6年生は21.5%→21.8%→22.3%、中学3年生は31.3%→35.7%→35.9%でした。小中ともに年々割合が増加していることが課題であるといえます。	継続	学校だよりや図書だよりの活用、読書感想文や読書感想画の取組を通して、家庭での読書を推進するよう指導します。	継続	学校教育推進課
6	(1)	①	P31	<b>【家庭での読書活動の啓発】</b> ブックリストを作成し配付します。 読み聞かせの方法や本の選び方の参考となるような講演会や講座を開催し、保護者への働きかけに努めます。	ブックリスト「おもしろい本みつけた」を年2回作成し、市内の学校・園・その他子育て関連施設に配付しました。発行部数：80,000部 親子で参加できる読み聞かせ講座や、大人を対象にした子どもの本の読書講座を、各図書館で開催しました。 読み聞かせ講座 開催回数：2回、参加者：75人 子どもの本の読書講座 開催回数：3回、参加者131人	継続	年2回ブックリスト「おもしろい本みつけた」を作成し、市内の保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・その他子育て関連施設に配付します。親子で参加できる読み聞かせ講座を2回、大人を対象にした子どもの本の読書講座を3回、読書感想文の書き方講座を2回、各図書館で開催します。	継続	中央図書館
7	(1)	②	P32	<b>【保育所・幼稚園における読書の習慣化への取組】</b> 年齢に応じたおはなしや絵本、紙芝居等を取り入れた保育を行うほか、絵本だけの配付や本の貸出を通じて、家庭への情報提供や読書の習慣化を図ります。	読み聞かせを継続的に実施し、子どももその時間を楽しみにしています。絵本の貸し出しについては、保育所・幼稚園の実情等において実施回数は異なりますが、家庭において親子で絵本にふれる楽しさを実感してもらうことを目的に実施しました。	継続	保育所、幼稚園において子どもへの読み聞かせを実施します。（1日1冊以上） 絵本の貸し出しを実施し、家庭において親子で楽しむ機会を啓発します。	継続	保育幼稚園総務課
8	(1)	②	P32	<b>【小・中学校における読書の習慣化への取組】</b> 司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアが連携し、学校図書館を活用した取組の充実を図ります。 日頃から様々な形で本に触れる機会を設けることで、読書活動の習慣化に向けた指導を行います。	小・中学校全校に配置している学校図書館支援員を対象に、学校図書館支援員連絡会を年間4回開催し（うち1回は5会場での分科会形式）、学校図書館の充実を図りました。また、学校図書館ボランティア対象に絵本読み聞かせの講習会を開催しました。現在、一斉読書は小・中学校46校全校で取り組み、読み聞かせも小学校32校全校で取り組んでいます。	継続	学校図書館を活用した取組の充実を図るとともに、一斉読書や読み聞かせ等の取組から、読書活動の習慣化に向けた指導を行います。 また、学校図書館ボランティア対象に絵本読み聞かせの講習会を行います。	継続	学校教育推進課
9	(1)	②	P33	<b>【障害のある子どもへの読書機会の提供】</b> 保育所では、全体や小グループでの読み聞かせを実施する、1対1での読み聞かせに努めるなど個別の状況に応じて対応しています。 幼稚園では、個別の読み聞かせの時間や場の確保、一斉読み聞かせにおいては個々の子どもを持つ特性に応じた支援に努めています。	保育の場面や個の特性に寄り添い、どの子どもも絵本を楽しめるよう支援しながら、読み聞かせの実施をしました。	継続	全体での読み聞かせにおける必要な配慮と共に、個に応じて興味のある絵本を1対1で楽しむ対応をします。	継続	保育幼稚園総務課
10	(1)	②	P33	<b>【障害のある子どもへの読書機会の提供】</b> 司書教諭連絡会等において障害のある子どもたちの読書状況について情報交流を行い、効果的な指導方法について研修機会をつくります。	司書教諭連絡会を年間2回開催し、情報交流や研修の機会をつくりました。	継続	司書教諭連絡会等で、情報交流や研修の機会をつくります。	継続	学校教育推進課
11	(1)	②	P33	<b>【障害のある子どもへの読書機会の提供】</b> 障害児通所施設等で、療育の一環として子どもが興味を持った絵本の読み聞かせを行い、それぞれの子どもに応じた読書機会を提供します。	季節ごとに行う行事や、毎日の設定保育の中で取り組んだ事柄に合わせて、絵本を読み聞かせました。また、子どもたちに興味・関心に向くように、絵カードやペープサート等を活用したり、それぞれが集中できるようにパーテーションで区切る等、工夫しながら読み聞かせました。	継続	子どもたちの発達課題とそれぞれの興味関心に合わせて絵本を選択し、子どもの集中しやすい環境を整えながら、絵本の読み聞かせを継続します。	継続	子育て支援課
12	(1)	③	P33	<b>【「おはなし会」の充実】</b> 図書館で年齢や季節に応じた「おはなし会」を実施します。 市立保育所・幼稚園・小・中学校において、おはなし会ボランティアによるおはなし会を実施します。	各図書館・分室でおはなし会を開催するとともに、市立の学校・園や、環境フェアなど市内のイベント等におはなし会ボランティアを派遣しました。 おはなし会ボランティア入門講習会を開催し、新たに24人のボランティアが加わりました。 中央図書館では、10月から新たに0～3歳までの乳幼児と保護者を対象にした「ちいさいこはなし会」を開催しました。開催回数：6回、参加者：のべ121人	拡充	図書館や市立の学校・園、市内のイベント等でおはなし会を開催します。 新たに、分館でも0～3歳までの乳幼児を対象にした「ちいさいこはなし会」を開催し、さらなる充実を図ります。	拡充	中央図書館
13	(1)	③	P34	<b>【人形劇・工作等行事の開催】</b> 図書館を利用したことのない子どもたちにも来館してもらえよう、人形劇などの行事を行います。	各図書館で人形劇や工作等の行事を開催しました。 人形劇 開催回数：5回、参加者：395人 工作等行事 開催回数：25回、参加者：1,108人	継続	図書館の利用促進を図るため、人形劇や工作等行事を開催します。また市制施行70周年行事として子ども向け演劇「オズの魔法使い」とその関連行事を開催します。	継続	中央図書館
14	(1)	④	P34	<b>【川端康成文学館における読書機会の提供・充実】</b> 小・中学生向け文学講座を開催し、読書機会の提供に努めます。	夏休み期間中に小・中学生を対象とした企画展を開催し、川端康成の生涯を分かりやすく示したパネルの展示、「伊豆の踊子」のアニメ鑑賞、書斎での作家体験、クイズ、チャリトーク、プラバンづくりなどを行いました。作家体験に新たに取り入れた「なりきり康成さん」も好評で、入館者数は大幅に増加しました。	継続	今年は川端康成のノーベル文学賞受賞50周年にあたることから、夏休み期間中に恒例の小中学生向け企画に加え、川端のノーベル賞関係資料を紹介する特別展示を行い、子どもたちが川端康成に興味を持ち読書に向かうきっかけとなるよう努めます。	継続	文化振興課
15	(1)	④	P34	<b>【公民館における読書機会の提供・充実】</b> 講座等の機会を活用して絵本の紹介や読み聞かせを行い、読書機会の拡大に努めます。	各公民館では、「親子で楽しむお話し」「絵本の読み聞かせ」などの取り組みを（11館、16講習会、延べ43回）実施しました。※昨年比6館増	継続	今後とも各公民館の意向を確認しながら、中央図書館と連携し、各公民館での読み聞かせを開催するとともに、市内大学（梅花女子大学等）と連携を図り、大学生による絵本の読み聞かせ等の取り組みが進められるよう調整を行います。	継続	社会教育振興課

平成30年度 子ども読書活動推進の取組

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成29年度取組の実績と課題等	平成29年度 取組区分	平成30年度取組内容等	平成30年度 取組区分	担当課	
16	(1)	④	P34	<b>【青少年センターにおける読書機会の提供・充実】</b> 青少年センター主催事業において、読書機会の提供に努めます。	1月14日開催の青少年センターフェスタで「ふれあい紙しばい」を開催、市民スタッフが読み手となり、幼児・小学生・保護者約50人が観覧しました。	継続	青少年センター主催事業において子どもと保護者がともに楽しめるよう、親子で本に親しむ機会を提供することに努めます。	継続	社会教育振興課
17	(2)	①	P35	<b>【子どもの本のコーナーの充実】</b> 各施設に設置されている子どもの本のコーナーの充実に努めます。	人権・男女共同参画の視点をもって選書するとともに、絵本の表紙が見える配架場所を設け、目に留まりやすく手に取りやすいよう工夫しました。	継続	児童書・絵本の充実に努め、目に止まりやすく手に取りやすい配架について工夫します。	継続	人権・男女共生課
				市役所南館3階「本のコーナー」に、図書館のおはなし会の案内やカレンダーを配架し、子どもが本に触れる機会を増やすよう努めました。また、子どもが保護者から読み聞かせをしてもらっている光景がよく見かけられるようになりました。	継続	市役所南館3階「本のコーナー」に、図書館のおはなし会の案内やカレンダーを配架し、子どもが本に触れる機会を増やせるように努めます。	継続	こども政策課	
				子どもの興味関心のあるものや、保育者が精選した絵本を計画的に購入し、コーナーの充実に努めました。また、季節や子どもの遊びや生活等に合わせ、さらに興味関心が深まるよう環境整備に努めました。	継続	子どもの興味関心のある絵本、年齢や季節に応じた絵本を精選するなど、コーナーの充実に努めます。	継続	保育幼稚園総務課	
				図書館の作成したブックリストを各学童保育室に案内し、教室予算で購入するように情報提供を行いました。また人権・男女共生課の出前よみきかせ（WAMキッズおはなし会）を各学童保育室に周知し、5つの学童保育室から希望があり実施しました。	継続	図書館の作成したブックリストを各学童保育室に案内し、教室予算で購入するように情報提供を行います。また人権・男女共生課と連携し、出前よみきかせを活用します。	継続	学童保育課	
				児童室がある玉櫛・玉島・太田・天王・白川公民館の図書コーナー（蔵書数等）の現状を確認しました。	継続	児童室の図書コーナーの充実に努めます。	継続	社会教育振興課	
				上中条青少年センターでは、小学校低学年向けの図書を37冊購入し、図書コーナーの充実に努めました。	継続	上中条青少年センターでは、年齢等に応じた図書を計画的に購入することにより、図書コーナーの充実に努めます。	継続	社会教育振興課	
				教育相談待合室における子どもの本の充実に努めました。更なる充実に努めます。	継続	教育相談待合室において、相談の待ち時間に保護者と子どもが本を通じて交流できるよう、子どもの本の充実に努めます。	継続	教育センター	
18	(2)	②	P36	<b>【子どもの本の選定・収集の充実】</b> 子どもたちが来なくなる学校図書館づくりのため、調べ学習・教科関連図書の収集に努め、蔵書の充実に努めます。	各学校において子どものリクエスト等も考慮しながら、蔵書の充実に努めました。物流サービスについては、物流回数14回で年間387回、10,173冊の活用がありました。（前年度は物流回数15回で年間425回、11,576冊）	継続	子どもからのリクエスト等も考慮しながら、蔵書の充実に努めるとともに、物流サービスを活用し、他校や公共図書館の図書も活用します。「図書館を使った調べる学習コンクール 地域コンクール」を開催し、調べ学習を通じて多様な蔵書の活用を図ります。	拡充	学校教育推進課
19	(2)	②	P36	<b>【学校図書館運営体制の充実】</b> 学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携し、学校図書館の利用促進を図る取組を進めます。	学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携するとともに、市立図書館職員による学校図書館の見学・アドバイスを行いました。また、学校図書館支援員連絡会において、中央図書館及び各分館の児童書担当者が参加し、アドバイス等を行いました。	継続	学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携するとともに、市立図書館職員による研修や学校図書館の見学・アドバイスも行い、学校図書館の運営体制の充実に努める取組を進めます。	継続	学校教育推進課
20	(2)	③	P37	<b>【子どもの本の選定・収集の充実】</b> 計画的に図書の購入を行い、資料の充実に努めます。中学・高校生を対象とした一般書についても資料の充実に努めます。	選書の際には、児童・生徒の興味に配慮と考えられる資料は、児童書・一般書の別にとらわれず購入するように努めました。職場体験の中学生から紹介されたおすすめの本も、選書の参考にしました。	継続	年齢に応じた資料や幅広い子どもの本の収集の充実に努めます。	継続	中央図書館
21	(2)	③	P38	<b>【子ども向け広報の充実】</b> ホームページやチラシなどの多様な媒体により、利用案内及び行事案内を充実させます。	ちらしやポスターによる広報を行うとともに、図書館ホームページの子ども向けのページを活用し、年齢に合わせた行事のお知らせや、本の紹介などを行いました。工作行事やおはなし会の様子を、ホームページ内の「最近のできごと」で紹介しました。	継続	ちらしやポスターによる広報を行うとともに、図書館ホームページの子ども向けのページを活用し、年齢に合わせた行事のお知らせや、本の紹介などを行います。	継続	中央図書館
22	(2)	③	P38	<b>【すべての子どもが利用しやすい環境づくり】</b> 障害のある子どもや、日本語を母国語としない子どもも図書館を利用しやすくするよう、環境の整備に努めます。	点字付きの絵本2点を受入しました。伊藤忠記念財団の「わいわい文庫」から、読書が困難な子ども向けのデジター図書4点の寄贈を受けました。利用促進のため、利用者や学校、関連施設への周知が今後の課題です。外国語で書かれた絵本について情報収集を行いました。具体的な収集については、引き続き検討が必要です。	継続	外国語で書かれた絵本について、収集や整理体制について検討を行います。大阪府立図書館や他市の図書館で所蔵している外国語の本について、情報提供を行います。子ども向けデジター図書の周知・利用促進に努めます。	継続	中央図書館

平成30年度 子ども読書活動推進の取組

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成29年度取組の実績と課題等	平成29年度 取組区分	平成30年度取組内容等	平成30年度 取組区分	担当課
<b>【基本方針Ⅱ】 学校・地域等と市立図書館との連携による推進体制の整備</b>								
23	(1)	①	P39 <b>【保育所・幼稚園への団体貸出の利用促進】</b> 中央図書館が保育所・幼稚園の読み聞かせ等に利用する本の団体貸出を実施します。	園長会で周知を行い、団体貸出の利用促進に努めました。4園842冊の利用がありました。さらなる利用促進と、私立の園への周知が今後の課題です。	継続	図書館ホームページや広報いばらぎで周知を行い、団体貸出の利用促進に努めます。	継続	中央図書館
24	(1)	①	P39 <b>【見学の受け入れ】</b> 中央図書館と4つの分館で、小学校・保育所・幼稚園からの見学の受入をし、来館した子どもたちに利用案内、館内見学を実施します。資料を豊富に揃えて、読書や調べ物に利用できることなどを伝えて利用促進を図ります。	中央図書館及び分館で、図書館見学を実施しました。	継続	小学校・保育所・幼稚園から図書館への見学を実施します。図書館を紹介し、利用促進につなげます。	継続	学校教育推進課
				小学校27校2,397人、幼稚園2園149人の図書館見学を受け入れました。館内の見学や、図書の貸出を行いました。	継続	各図書館とも、図書館見学の受け入れを実施します。図書館に親しんでもらう機会とし、利用促進につなげます。	継続	中央図書館
25	(1)	①	P39 <b>【職場体験の受け入れ】</b> 中央図書館と4つの分館で、中学校からの生徒を受け入れ、貸出・返却・書架整理等の業務等を体験してもらい、市立図書館を身近に感じ、親しんでもらう機会にします。	中央図書館及び分館で、職場体験を実施しました。	継続	中学校から図書館への職場体験を実施し、図書館に親しむ機会にします。	継続	学校教育推進課
				9校24回55人の職場体験を受け入れ、カウンターや事務所内の作業など、図書館業務の体験を行いました。参加した中学生が選んだおすすめの本と紹介文を図書館ホームページ内「中学生のおすすめ本」のページに掲載しました。	継続	各図書館とも中学生の職場体験を受け入れ、図書館に親しんでもらう機会とします。	継続	中央図書館
26	(1)	①	P40 <b>【市立図書館利用の促進】</b> 読書活動においても小・中学校間の連携を進め、研修会を持ち、市立図書館の利用の周知を行い、学校と市立図書館との連携を深めます。	学校と市立図書館との連携のための「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」を、校長会、司書教諭等連絡会、学校図書館支援員連絡会にて周知し、活用しました。「図書館を使った調べる学習コンクール」プレコンクールを開催し、全国コンクールにも応募しました。	拡充	読書活動においても小・中学校間の連携を進め、研修会を持ち、市立図書館の利用の周知を行い、学校と市立図書館との連携を深めます。学校と市立図書館とで連携できることについての周知を様々な場面で行います。「茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、全国コンクールにも応募します。	継続	学校教育推進課
				「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき、司書教諭や学校図書館支援員の連絡会に図書館職員が出席しました。研修会等の開催にあたっては、会場の設定や、資料の提供をするなど、協力を行いました。	継続	「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき、連絡会・研修会に図書館職員が出席し、学校図書館との連携を深めます。	継続	中央図書館
27	(1)	②	P40 <b>【学校への団体貸出の利用促進】</b> 学校の調べ学習等に利用する本の団体貸出を実施します。物流システムを活用し、利便性を高めます。	団体貸出の手順を学校に周知し、その結果、中央図書館と小・中学校を巡回する物流サービスが、387回利用されました。（前年度は425回）	継続	作成されたマニュアルを活用し、団体貸出の充実を図ります。	継続	学校教育推進課
				校長会や、司書教諭連絡会等で団体貸出の利用について周知しました。学校から問い合わせのあった外国語の本や「えほんひろば」の本について、本市の図書館の本以外に、大阪府立図書館の特別貸出セットや、大阪府教育庁の「えほんひろば」セットの利用についても情報提供を行いました。	継続	校長会や司書教諭連絡会等で団体貸出について周知します。必要に応じて、本市以外の図書館の本についても、情報提供を行います。	継続	中央図書館
28	(1)	②	P40 <b>【市立図書館の司書による情報提供】</b> 市立図書館の司書が、学校図書館教諭及び学校図書館支援員に情報提供を行い、市立図書館を活用した取組を支援します。	「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき、司書教諭や学校図書館支援員の連絡会に図書館職員が出席し、情報交換を行いました。図書館職員が小学校3校、中学校6校の学校図書館を訪問し、学校図書館の運営や、図書の修理の相談などに応じました。	継続	「ねっとわーくプラン」に基づき、司書教諭や学校図書館支援員の連絡会に図書館職員が出席し連携に努めます。図書館職員が小・中学校の図書館を訪問し情報交換を行います。	継続	中央図書館
29	(2)	①	P41 <b>【生涯学習出前講座の実施】</b> 市立図書館の司書が、読み聞かせについての講座や図書の修理実演、市立図書館の利用案内等を行います。	読み聞かせについての出前講座を実施しました。実施回数：1回	継続	読み聞かせについての講座や図書の修理実演、市立図書館の利用案内等の出前講座を行います。	継続	中央図書館
30	(2)	①	P41 <b>【ブックリストの配付・活用】</b> 児童書紹介ブックリストを配付し、図書館を利用したことのない子どもや保護者にも、読書活動の大切さをお知らせします。	ブックリスト「おもしろい本みつけた」を年2回作成し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に配付しました。また、ホームページにも掲載しました。紹介された図書は利用が増加し、予約の申込みも増加しました。	継続	ブックリスト「おもしろい本みつけた」を作成し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に配付します。また、ホームページにも掲載します。	継続	中央図書館
31	(2)	②	P41 <b>【地域団体・ボランティアのネットワークづくり】</b> 市立図書館が、子育てサークル等、子どもの読書にかかわる地域団体・ボランティア間の情報交換・交流を図り、連携・協働して子どもの読書活動を推進します。	市内のつどいの広場からの通信などの情報提供のコーナーを中央図書館児童室に設置しました。また、図書館おはなし会のちらしや、ブックリスト「おもしろい本みつけた」を送付して情報提供を行いました。	拡充	子育てサークル等、子どもの読書にかかわる地域団体・ボランティア間の情報交換・交流を図り、連携・協働して子どもの読書活動を推進します。	継続	中央図書館
32	(3)	—	P42 <b>【児童サービス担当司書の養成】</b> 児童サービスに携わる司書を養成するとともに、研修の充実を図り、子どもの読書活動を推進する取組を行います。	大阪府立中央図書館での研修会や、児童サービス担当者連絡会等に出席し、職員のスキルアップを図るとともに、他市の図書館職員との情報交換に努めました。	継続	職員のスキルアップを図るため、研修などに参加するとともに、他市の図書館職員と交流し、情報収集に努めます。	継続	中央図書館
33	(3)	—	P42 <b>【司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアの知識技能の向上】</b> 司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアの知識技能の向上のため、定期的に研修を行い、情報交換を行います。	司書教諭連絡会を2回、学校図書館支援員連絡会を4回、図書館ボランティア研修会を1回行うとともに、学校図書館支援員連絡会では、中央図書館の職員によるアドバイスコーナーも設けました。	継続	定期的に連絡会・研修会を開催し、知識技能の向上を図ります。また、学校図書館支援員連絡会で中央図書館の職員による研修を実施します。	継続	学校教育推進課
34	(3)	—	P42 <b>【保育士・幼稚園教諭の読み聞かせ技術の向上】</b> 園内における読み聞かせの時間をさらに充実したものにすため、保育士・幼稚園教諭の技術向上を図る研修を行います。	講師による読み聞かせスタイルの研修を実施したことで、子どもの目線や思いに沿った絵本の選択技が広がると共に、読み聞かせの技術向上に繋がりました。また、参加者同士で絵本についての意見交流したことも含め、今後の保育に活かします。	継続	研修会で学んだことを活かし、絵本の選定の仕方や読み聞かせの技術向上をはかります。また、園内研修を通して職員間で意見交流や情報交流を行うことで、園内における読み聞かせをさらに充実したものにします。	継続	保育幼稚園総務課
35	(3)	—	P42 <b>【おはなし会ボランティアの技術向上】</b> ボランティアの講習会及び技術向上のための研修会を定期的に実施します。	おはなし会ボランティアを対象にした研修会「絵本とおはなし」を実施しました。実施回数：1回、参加者：48人	継続	ボランティアの講習会及び技術向上のための研修会を定期的に実施します。	継続	中央図書館

平成30年度 子ども読書活動推進の取組

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成29年度取組の実績と課題等	平成29年度 取組区分	平成30年度取組内容等	平成30年度 取組区分	担当課	
<b>【基本方針Ⅲ】子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発</b>									
36	(1)	—	P43	<b>【「子ども読書の日」の普及】</b> 「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」に合わせて行事等を開催し、読書活動の推進を図ります。	「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」に合わせて、おはなし会スペシャルや親子向けの読み聞かせ講座を開催しました。 参加者：おはなし会スペシャル 32人、読み聞かせ講座 33人	継続	「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」に合わせて、おはなし会等の行事を開催します。	継続	中央図書館
37	(1)	—	P43	<b>【講習会・読み聞かせ会の開催】</b> 幼稚園では、保護者を対象に講習会や読み聞かせ会などを園行事の中に組み込みます。	おはなし会ボランティアによる読み聞かせを通して、お話のイメージを膨らませたり、図書館を活用し、より絵本に親しむことができました。	継続	図書館ならびに地域ボランティアの協力を得て、実施します。	継続	保育幼稚園総務課
				学童保育課と連携して、夏休みの期間を中心に5か所の学童保育室での読み聞かせ会を開催しました。さらに多くの場で開催できるよう関係課との連携を図ります。	拡充	チラシの配付時期・配布方法等を工夫し、さらに周知を図るとともに、簡単なワークも取り入れて、子どもたちに自分を大切にすることを絵本を通して伝えます。	継続	人権・男女共生課	
38	(1)	—	P43	<b>【講演会・講座の開催】</b> 子どもの読書に関する講演会や講座を開催し、子どもの読書活動の意義について、啓発を図ります。	親子で参加できる読み聞かせ講座や、大人を対象にした子どもの本の読書講座を、各図書館で開催しました。 読み聞かせ講座 開催回数：2回、参加者：75人 子どもの本の読書講座 開催回数：3回、参加者131人	継続	親子で参加できる読み聞かせ講座と大人を対象にした子どもの本の講座を開催します。新たに、親子で参加できる読書感想文の書き方講座を開催します。	継続	中央図書館
				各公民館では、11館で読み聞かせを実施するなど、昨年度に比べ広がりが見られました。また、文化展で読み聞かせを実施した館も見受けられました。	継続	子どもの読書に関する講習会を、少しでも多くの公民館で開催できるよう、継続して働きかけを行います。	継続	社会教育振興課	
				「夏休み親子手づくり絵本教室」は、3回連続講座で、子どもが描いた絵を親子で製本し、一冊の絵本を作りあげました。27組66名の参加で、読書活動への親しみが増しました。 「きらめきクリスマスおはなし会」は、きらめきでは初めてのおはなし会の実施で、だれでも参加できるものです。参加者は子どもから高齢者まで52名。絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、ブラックライトのパネルシアター、人形劇を楽しみました。 1階交流コーナーでは、自由に利用できるスペースに、「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を設置したことにより、利用者が読書をしています。	新規	「きらめきおはなし会」を継続的に取り組みます。また、1階交流コーナーの「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を継続し、読書が推進されるように努めます。	継続	文化振興課	
39	(1)	—	P44	<b>【本市にゆかりのある作家と作品の紹介・普及】</b> 川端康成文学館、富士正晴記念館、宮本輝ミュージアムの関連施設が連携して、子どもたちにわかりやすい情報提供に努めます。	12月に中央図書館が行った「川端康成とノーベル賞受賞者の本」特集の関連展示にパネルを提供し、川端康成の生涯と作品、茨木との関係などを紹介しました。	継続	パンフレットやイベントチラシの設置など、関連施設と連携し周知に努めます。	継続	文化振興課
				一般室では、川端康成記念館と連携し、特集コーナー「川端康成とノーベル賞受賞者の本」を設置しました。 富士正晴記念館では、子ども向けイベントを開催しました。富士正晴のクイズや、絵画作品を使ったぬり絵、記念館に再現した書斎に入る体験も実施しました。 参加者：369人 また富士正晴記念館は、国立民族学博物館で開催された北大阪ミュージアムメッセに展示ブースを出展し、記念館のPRを行いました。富士正晴にちなんだ子ども向けのクイズも実施しました。	継続	パンフレットやイベントチラシの設置など、関連施設と連携し周知に努めます。 富士正晴記念館は、国立民族学博物館で開催される北大阪ミュージアムメッセに展示ブースを出展します。富士正晴にちなんだ子ども向けのクイズやぬりえを実施します。	継続	中央図書館	
40	(2)	—	P44	<b>【ブックリストの作成・配付】</b> 乳幼児から中学生までの年齢に応じたおすすめの本を紹介するブックリストを引き続き作成・配付します。 今後対象を高校生まで広げたブックリストについても作成し、中学・高校生に対する情報提供の充実を図ります。	ブックリスト「おもしろい本みつけた」の作成・配付を行いました。 発行部数：80,000部 中高生向けの図書を選定については、一般室担当職員も参加し、中高生の興味に沿った選書に努めました。	継続	ブックリスト「おもしろい本みつけた」の作成・配付を行います。中高生向けの図書の選定については、一般室担当職員も参加し、中高生の興味に沿った選書に努めます。	継続	中央図書館
				教育関係機関と連携し、教職員向けのブックリストを作成・配付しました。	継続	教育関係講座でのブックリスト配付を行い、読書推進に努めます。	継続	人権・男女共生課	
				親子講座でのブックリスト配付により、行事参加者に図書コーナーの存在や貸出ができることを周知し、図書利用の拡大につなげ、読書推進に努めました。	継続	親子講座でのブックリスト配付を行い、読書推進に努めます。	継続	人権・男女共生課	
41	(2)	—	P45	<b>【絵本だよりの作成・配付】</b> 絵本の内容紹介や、子どもたちに伝えたいことを盛り込んだ絵本だよりを発行し、保護者への啓発に取り組みます。	年齢に応じたお勧め絵本の紹介や絵本だよりの発行を通して、図書選択の幅を広げ、さらに関心や楽しみが深まるよう保護者への情報提供に努めました。	継続	ブックリストの活用や文書の発行、掲示物の工夫などを通して、保護者へ読み聞かせの大切さを伝えます。また、子どもの興味や関心が高い絵本等の情報提供を実施します。	継続	保育幼稚園総務課